

消防年報

令和5年版



稚内地区消防事務組合
(令和6年刊行)

ま え が き

この消防年報は令和5年中の当消防事務組合管内の消防の現況、予防、火災、救急、救助等の消防業務について集録し、将来の参考にするため編集した。

内容については令和5年12月末日現在で収録したものである。

稚内地区消防事務組合

目 次

【沿革】

稚内地区消防事務組合沿革 ----- 1～9

【総務編】

組織系統図 ----- 10

一般会計予算 ----- 12

歴代役員 ----- 14～15

職員定数実数配置・団員定数実数 ----- 17

消防職員勤続年数 ----- 19

消防職員各種免許取得状況 ----- 21

消防庁舎（豊富町・猿払村）----- 23

【警防編】

消防車両の現状 ----- 24

水利状況 ----- 26

月別火災発生状況及び損害状況 ----- 28

【救急救助編】

月別救急出動状況（稚内市） ----- 29

過去5年間の救急活動状況 ----- 31

【予防編】

防火対象物数 ----- 33

人口と面積・消防配置 ----- 11

住民と消防比較 ----- 13

歴代議長・副議長 ----- 16

消防職員年齢及び階級別実数 ----- 18

消防団員配置 ----- 20

消防庁舎（稚内市）----- 22

消防団車両の現状 ----- 25

通信・無線施設状況 ----- 27

月別救急出動状況（豊富町・猿払村）----- 30

月別救助活動状況 ----- 32

危険物施設数 ----- 34

【浴革】

稚内地区消防事務組合沿革

年月	組合	事項
明治時代	23年 4月	稚内市 私設消防組設置 組頭以下35名 腕用ポンプ1台
	27年 4月	稚内市 公立宗谷消防組設置 組頭以下105名 腕用ポンプ1台 2部制
	34年 5月	稚内市 町制施行 宗谷消防組を稚内消防組と改称する
	39年 2月	稚内市 声問一部設置 3部制 組頭以下130名 腕用ポンプ3台
	44年 5月	稚内市 稚内町大火山火より延焼 752戸焼失
	末期	猿払村 猿払消防組設置(浜猿払)
大正時代	4年 1月	猿払村 知来別消防組設置
	5年	猿払村 猿払消防組 腕用ポンプ1台
	8年	猿払村 知来別消防組 腕用ポンプ1台
	8年10月	猿払村 浅茅野・浜鬼志別消防組設置
	9年 1月	稚内市 抜海一部設置 4部制 組頭以下155名 腕用ポンプ4台
	10年 7月	猿払村 知来別大火 戸数不明
	11年 6月	猿払村 鬼志別消防組設置 腕用ポンプ1台
	12年 4月	稚内市 クサナル一部設置 5部制 組頭以下199名 腕用ポンプ5台 声問・抜海分離 部落冠称 町内3部制
	12年 5月	稚内市 沼川私設消防組設置 鈴木式ガソリンポンプ 1台配置
	13年 1月	猿払村 消防組設置 3部制 組頭以下92名 腕用ポンプ3台
	14年 5月	稚内市 ガソリンポンプ1台配置
	14年10月	豊富町 豊富私設消防組設置腕用ポンプ1台配置
昭和時代	元年頃	豊富町 兜沼私設自警団設立
	3年 8月	稚内市 消防ポンプ自動車(ダッチ)1台配置 機関係1名常備 貯水槽(54m ³)6基 地下式消火栓21基
	3年 8月	猿払村 4部制 組頭以下122名 ガソリンポンプ2台
	3年10月	稚内市 稚内町大火 681戸焼失 死者2名
	4年 5月	豊富町 自警団消防組に組織改組
	5年11月	稚内市 稚内町大火 216戸焼失
	6年 4月	稚内市 常備消防部庁舎新築 木造2階建延べ197m ² ポンプ自動車(レオ)1台配置
	6年 5月	豊富町 豊富・兜沼公設消防組に昇格
	9年 4月	猿払村 5部制 組頭以下180名 ポンプ自動車1台配置
	13年 8月	豊富町 公認日曹消防組設立 腕用ポンプ3台
	14年 3月	稚内市 1日午後11時 勇知原野11線農業 吉原達雄方煙突部より出火全焼 主人(48)妻(43)長女(21)長男(18)次男(12)三女(9)三男(7)四女(4)の8人及び牛馬各1頭羊8頭豚2頭は何れも焼死
	14年 4月	稚内市 勅令警防団令公布消防組廃止 稚内警防団発足 9ヶ分団 団長以下470名 常備員14名ポンプ自動車3台ガソリンポンプ3台 腕用ポンプ8台 貯水槽39ヶ所
	14年 4月	豊富町 消防組幌延村警防団と改編 幌延村に団本部設置 3分団(豊富) 4分団(兜沼) 5分団(日曹)となる
	14年 4月	猿払村 警防団と改称 5ヶ分団 団長以下220名
	14年12月	猿払村 ソ連貨物船「インディギルガ号」(4,000t)暴風雪で浜鬼志別沖合いのド島付近で座礁転覆死者700余名 村長の指揮下警防団員全員が遺体の収容収集並びに荼毘に付し長期3ヶ月余に亘るボランティア活動
15年	豊富町 幌延村より分村	
15年 8月	豊富町 豊富警防団と称する	

稚内地区消防事務組合沿革

年月	組合	事項
19年 2月	稚内市	日本警防協会長より火災現場功労表彰旗授与
20年 8月	稚内市	終戦
21年 6月	猿払村	林野火災 2,648ha焼失
22年 1月	豊富町	日曹消防団タービンポンプ配置
22年 6月	稚内市	林野火災 843ha焼失
22年 6月	稚内市	林野火災 1,111ha焼失
22年 8月	猿払村	消防組織法により猿払村消防団組織改正 団長1名 副団長2名にて消防団本部編成 8ヶ分団 235名 ガソリンポンプ1台 腕用ポンプ9台
22年10月	稚内市	稚内炭鉱ダイナマイト 爆発事故 死者15名
22年10月	豊富町	豊富地区貯水槽設置
22年12月	豊富町	温泉で火災 旅館2戸民家3戸 計5戸焼失
22年12月	豊富町	警防団消防団と改称 豊富消防団一豊富1分団・兜沼消防団一兜沼分団・目梨分団 日曹消防団
23年 3月	稚内市	消防組織法施行
23年 4月	稚内市	稚内町消防団設置 常備員25名
23年 5月	稚内市	林野火災 1,681ha焼失
24年 4月	稚内市	市制施行 消防本部 消防署設置 人員26名 ポンプ自動車6台 消防団9ヶ分団 団長以下420名
25年 3月	豊富町	温泉で火災 旅館1戸 食堂1戸 民家2戸 計4戸焼失
25年 3月	豊富町	豊富村3消防団装備ガソリンポンプ5台 腕用ポンプ5台
25年 4月	稚内市	水槽付ポンプ車配置「流星」
25年 4月	豊富町	温泉2分団発足 ガソリンポンプ1台
25年 6月	猿払村	浜猿払市街大火30戸全焼
27年 5月	稚内市	林野火災 734ha焼失
27年 5月	豊富町	豊富地区ポンプ車配置
27年 5月	猿払村	林野火災 793ha焼失
27年 5月	猿払村	林野火災 528ha焼失
27年 9月	豊富町	兜沼地区小型動力ポンプ配置
28年 5月	豊富町	日本消防協会長より5名の日曹消防団員が水害救助で現場功労賞授与
28年 8月	豊富町	日曹地区ポンプ車配置
29年 4月	豊富町	豊富消防団本部庁舎新築
29年 8月	猿払村	ポンプ自動車3台 小型動力ポンプ5台 ガソリンポンプ1台 腕用ポンプ9台
30年 3月	稚内市	宗谷村稚内市に合併 消防団13ヶ分団
30年 4月	猿払村	分団機械整備により消防団条例一部改正 定員 163名
31年 6月	猿払村	鬼志別文化劇場火災 8棟 7戸全焼
32年 5月	豊富町	兜沼地区屋外消火栓設置
32年11月	豊富町	日曹消防団本部庁舎新築
33年 9月	豊富町	豊富地区屋外消火栓設置

昭和時代

稚内地区消防事務組合沿革

年月	組合	事項
33年12月	豊富町	兜沼消防団本部庁舎新築
34年 1月	豊富町	町制施行
35年 3月	稚内市	水槽付ポンプ車配置「彗星」
35年 6月	稚内市	宝来3丁目水産加工場火災 渋田消防司令補 殉職 消防葬挙行
35年 8月	猿払村	知来別市街火災 7棟焼失
35年10月	豊富町	日本消防協会会長より竿頭授与
36年 5月	稚内市	港4丁目消防本部・署庁舎新築 ブロック2階建593㎡
36年 5月	豊富町	林野火災 893ha焼失
36年 9月	豊富町	温泉地区屋外消火栓設置
37年10月	稚内市	宝来1丁目北分遣所設置
38年 5月	猿払村	鬼志別自衛隊演習地火災 1,501ha焼失 豊里開拓地火災 4戸全焼1戸半焼 836ha焼失
39年 7月	稚内市	消防創設70周年 自治体消防創設15周年記念式典挙行
40年10月	稚内市	稚内公園稚内霊苑内に消防殉職功労者慰霊碑建立
41年 6月	稚内市	消防団本部庁舎新築(中央4)ブロック3階建336㎡
42年 8月	豊富町	北海道消防協会会長より表彰旗授与
42年 9月	稚内市	政令指定による救急業務開始
42年10月	豊富町	3消防団を豊富消防団と組織替え 団員156名 豊富分団 兜沼分団 温泉分団 日曹分団
42年11月	稚内市	北海道知事により消防団竿頭授与
42年11月	稚内市	消防ポンプ自動車寄贈配置「ライオンズ号」
42年12月	稚内市	消防専用無線電話開設
44年 5月	猿払村	浜猿払市街火災3棟673㎡全焼
44年 6月	稚内市	第21回 北海道消防大会開催 参加人員1,950名 屈折梯子車配置(15m級)「昇竜」救急車配置
45年 3月	豊富町	日曹小中学校火災 1,886㎡全焼
45年11月	稚内市	雪上車配置
46年 2月	稚内市	日本消防協会会長より消防団表彰旗授与
46年 5月	稚内市	市ごみ捨場より飛び火出火 林野火災発生3日間延焼269.8ha焼失
46年 5月	猿払村	鬼志別市街火災 1棟408㎡全焼
46年10月	稚内市	化学車配置「双竜号」
47年 3月	稚内市	港5丁目消防本部・署庁舎新築 鉄筋コンクリート3階建て 946.59㎡
47年 7月	豊富町	日曹分団炭鉱閉山により廃止
47年12月	稚内市	暴風雪により高圧鉄塔多数倒壊送電線無数切断 5日間全市停電 ロウソク火による火災続発(発生4件 焼死者1名)
48年 3月	稚内市	消防庁長官より竿頭授与
48年 4月	稚内市	稚内地区消防事務組合発足(稚内市・豊富町・猿払村)
48年 4月	豊富町	消防署豊富支署設置
48年 4月	猿払村	消防署猿払支署設置

昭和時代

稚内地区消防事務組合沿革

年月	組合	事項
48年 5月	豊富町	支署庁舎新築 2階建鉄筋ブロック323㎡
48年 5月	猿払村	鬼志別建物火災 住宅及び車庫 4棟671㎡全焼
48年11月	猿払村	支署庁舎新築 2階建鉄筋ブロック289.18㎡
49年 3月	稚内市	恵比須2丁目北出張所新築 鉄筋ブロック2階建128.25㎡
49年 3月	豊富町	マイクロ2B型救急車配置
49年 6月	豊富町	救急業務政令指定
49年 6月	猿払村	救急業務政令指定
49年 7月	猿払村	消防団北海道消防協会長より竿頭授与
50年 1月	猿払村	無火災記録487日でストップ
50年 2月	稚内市	3B型救急車寄贈配置(損保協会)
51年 3月	稚内市	一斉指令装置開設
51年 7月	猿払村	猿払地区原野火災発生 1,120ha焼失
52年 8月	豊富町	消防指令車寄贈配置(前田氏)
52年10月	豊富町	消防専用無線電話開設
53年 5月	猿払村	小石地区林野火災発生 国有林 400ha焼失(ヘリコプターによる空中散布)
53年 9月	稚内市	自治体消防30周年組合 消防5周年記念合同訓練大会 消防タンク車寄贈置(損保協会)「百竜号」
53年12月	稚内市	本部 車庫増築132.75㎡
54年 1月	猿払村	狩別地区建物火災発生 牛舎全焼乳牛15頭焼死
54年 5月	豊富町	目梨別国有林火災29ha焼失(ヘリコプターによる空中散布)
54年 6月	稚内市	3B型救急車寄贈配置(稚内ライオンズクラブ)
54年11月	豊富町	温泉地区建物火災(元湯館)半焼 940㎡焼失
55年 9月	猿払村	消防専用無線電話開設
56年 9月	稚内市	消防ポンプ自動車配置「銀竜号」
57年 4月	猿払村	消防指令車配置
57年 8月	稚内市	消防本部指揮車配置(稚内ライオンズクラブ)
57年10月	稚内市	救助工作車配置(電源照明付「飛竜号」)
58年 6月	猿払村	消防団北海道消防協会より 表彰旗授与
58年 9月	猿払村	大韓航空機墜落事件に伴う漂着物捜索(オホーツク海岸一帯)
59年 1月	猿払村	芦野地区建物火災発生牛舎全焼 搾乳牛47頭焼死 昭和55年1月29日以来無火災記録1,145日でストップ
59年 1月	豊富町	2B型救急車寄贈配置(損保協会)
59年10月	稚内市	三節屈折梯子車配置(25m級「宝竜号」)
59年10月	猿払村	消防水槽車配置(水10,000ℓ「巨龍」)
60年10月	豊富町	消防水槽車配置(水10,000ℓ)
60年11月	豊富町	車庫増築 96.2㎡
60年11月	猿払村	無火災記録540日でストップ

昭和時代

稚内地区消防事務組合沿革

年月	組合	事項
昭和時代	61年10月	稚内市 消防水槽車配置(水 10,000ℓ「大竜号」)
	62年 6月	稚内市 連絡車配置
	62年 7月	稚内市 3B型救急車配置
	62年10月	豊富町 消防タンク車配置
	63年 5月	稚内市 広報車配置
	63年 6月	豊富町 指令車寄贈配置(豊富町建設協会)
	63年 8月	豊富町 小型動力ポンプ積載車配置
	63年 9月	稚内市 消防タンク車寄贈配置(損保協会「金竜号」)
	63年 9月	稚内市 2B型救急車寄贈配置(日本消防協会)
	63年11月	猿払村 2B型救急車寄贈配置(損保協会)
平成時代	元年 6月	稚内市 訓練塔新設(鉄管組立構造)
	元年 6月	稚内市 第41回北海道消防大会 開催 参加人員3,300名
	元年10月	稚内市 救急医療システム端末機設置
	元年10月	豊富町 酪農地域消火栓設置30基
	元年11月	稚内市 指令車寄贈配置(財団法人日本防火協会)
	元年11月	猿払村 消防タンク車配置(水 3,000ℓ)
	2年 3月	稚内市 消防庁長官より表彰旗授与(消防本部 稚内消防団)
	2年 3月	稚内市 消防緊急情報システム設備開設
	2年 8月	豊富町 小型動力ポンプ付積載車配置
	2年10月	猿払村 第8分団小型動力ポンプ付積載車配置
	2年12月	豊富町 酪農地域消火栓設置30基
	3年 2月	稚内市 化学消防ポンプ車配置(高圧ポンプ付「双竜号」)
	3年 5月	猿払村 自衛隊演習場内野火発生 600ha焼失
	3年 5月	猿払村 庁舎内部一部改修
	3年 9月	稚内市 北海道防災総合訓練 末広5丁目臨海工業団地 参加機関15機関参加人員640名
	3年12月	猿払村 小型動力ポンプ付積載車5台配置(防衛庁補助事業)
	3年12月	猿払村 第4分団・第7分団詰所 改築 81㎡
	4年 7月	稚内市 消防本部指揮車配置(稚内ライオンズクラブ一部寄贈)
	4年 7月	猿払村 北海道消防操法訓練大会小型ポンプの部に第1分団出場
	4年 8月	豊富町 小型動力ポンプ付積載車及び小型動力ポンプ配置
	4年10月	稚内市 女性消防団結成
	4年12月	豊富町 酪農地域消火栓設置15基
5年 3月	稚内市 水槽付消防ポンプ自動車配置「さくら号」(防衛庁補助事業 水4,000ℓ)	
5年 3月	豊富町 サイレン吹鳴装置設置(温泉・兜沼地区)	
5年 5月	豊富町 人員搬送車配置9人乗り(山谷佐栄次氏 一部寄贈)	

稚内地区消防事務組合沿革

年月	組合	事項
5年12月	豊富町	酪農地域消火栓設置15基
6年 2月	稚内市	消防ポンプ自動車配置「北斗号」(消防防災設備整備費補助事業)
6年 3月	豊富町	サイレン吹鳴遠隔装置設置(1町内・5町内)
6年 3月	猿払村	消防ポンプ自動車配置「鬼竜」(防衛施設周辺民生安定施設整備事業)
6年 5月	猿払村	狩別林野火災
6年 7月	猿払村	宗谷管内水防訓練(猿払川新富士見町)
6年 9月	猿払村	第2分団サイレン塔改築
6年11月	稚内市	第3分団庁舎新築 146.10㎡ 第14分団庁舎新築 34.02㎡
6年11月	豊富町	2B型救急車寄贈配置(北海道共済連)
6年12月	稚内市	梯子付消防自動車配置(40m級「天翔」)
6年12月	稚内市	第11分団庁舎新築 80.19㎡
6年12月	豊富町	酪農地域消火栓設置15基
7年 3月	豊富町	サイレン吹鳴遠隔装置設置(3町内・4町内・稚咲内)
7年 7月	豊富町	女性消防団結成(10名)
7年 9月	猿払村	第6分団サイレン塔新築 コンクリート制 13m
7年10月	猿払村	第6分団資機材車配置
7年12月	豊富町	酪農地域消火栓設置 20基
8年 2月	猿払村	第6分団庁舎新築 55.71㎡
8年 3月	稚内市	消防本部広報車配置
8年 3月	豊富町	サイレン吹鳴装置設置(1町内・5町内)
8年 7月	豊富町	北海道消防操法大会に(小型ポンプ)第1分団出場
8年 7月	豊富町	消火栓設置(4町内)
8年 8月	稚内市	救助隊潜水班運用開始
8年10月	猿払村	女性消防団結成(10名)
8年11月	稚内市	抜海地区で火災発生 8棟1,249㎡焼失
8年12月	稚内市	高規格救急車配置
9年 5月	豊富町	庁舎事務室拡張工事(28㎡)
9年10月	豊富町	梯子自動車配置(15m級)
9年12月	豊富町	防火水槽設置(1町内2基 4町内1基)
9年12月	猿払村	支署庁舎新築 鉄骨コンクリート2階建 1417.43㎡
10年 5月	稚内市	声間サラキトマナイ地区林野火災発生1,000ha焼失
10年10月	猿払村	消防緊急通信指令装置 設置
10年11月	稚内市	消防コミュニティ庁舎改築 鉄骨鉄筋コンクリート地下1階地上2階建 2,980.90㎡ 消防緊急通信指令システム 訓練塔・地下1階地上7階(潜水訓練用水槽 深さ8m)
10年11月	豊富町	救助工作車配置(損保協会寄贈)
10年11月	豊富町	消火栓設置(1町内1基)

平成時代

稚内地区消防事務組合沿革

年月	組合	事項
10年12月	稚内市	水難用ボート・資機材車配置
10年12月	豊富町	防火水槽設置(3町内2基 5町内1基)
10年12月	猿払村	第5分団庁舎新築67.5㎡
10年12月	猿払村	高規格救急車配置
11年 8月	猿払村	消火栓設置(浅茅野台地他4基)防火水槽設置(知来別1基)
11年10月	豊富町	消火栓設置(5町内1基)
11年11月	豊富町	防火水槽設置(1町内1基 5町内1基)
12年 2月	豊富町	防火水槽移設設置(2町内1基)
12年 6月	稚内市	救助工作車配置(電源照明付「飛竜」)
12年 6月	豊富町	指令車配置
12年 7月	稚内市	第1分団 道消防操法大会(小型ポンプ)にて優良賞
12年10月	稚内市	第13分団庁舎改築 97.2㎡
12年10月	猿払村	消火栓設置(浅茅野他10基)
12年12月	豊富町	消火栓設置(5町内1基)
13年 3月	猿払村	防火水槽設置(鬼志別3基)
13年 7月	稚内市	恵比須2 北出張所廃止
13年10月	豊富町	消防ポンプ自動車配置(CD II 型)
13年10月	猿払村	消火栓設置(浅茅野台地2基・狩別1基)
14年 6月	稚内市	稚内市中央2地区 大火31棟焼失 焼失面積8,845㎡損害額 約16億4,100万円
14年11月	豊富町	消火栓設置 (5町内1基)
15年10月	猿払村	2B型救急車寄贈配置(北海道共済連)
15年11月	豊富町	消火栓設置(5町内1基)
15年12月	稚内市	消防ポンプ自動車配置「銀龍号」
16年 3月	豊富町	消防ポンプ自動車配置(CD I 型)
16年 7月	猿払村	北海道消防操法大会小型ポンプの部に消防団出場
16年 8月	猿払村	消火栓設置(鬼志別2基)
16年12月	豊富町	高規格救急車配置
17年 8月	稚内市	北海道防災総合訓練 末広4丁目天北第2埠頭 参加機関24機関 参加人員1,200名
17年 8月	豊富町	消火栓設置(4町内1基)
17年 8月	猿払村	消火栓設置(鬼志別1基・浜鬼志別1基)
17年10月	稚内市	2B型救急車寄贈配置(全国共済連)
18年 5月	猿払村	浅茅野台地林野火災1,434ha 焼失
18年 8月	猿払村	消火栓設置(知来別1基・浜鬼志別1基)
18年 9月	猿払村	豊里地区(1024林班)行方不明者捜索活動展開
18年11月	稚内市	オホーツク海沿岸地域津波警報発令 東浦・宗谷岬地区住民183世帯 623人に避難指示声問～珊内・ノシャップ～坂ノ下地区住民 829世帯 1,998人に避難勧告発令、被害なし

平成時代

稚内地区消防事務組合沿革

年月	組合	事項
18年11月	猿払村	オホーツク海沿岸地域津波警報発令 知来別・浜鬼志別・芦野・浜猿払地区住民374世帯1,125人に避難指示発令、被害なし
18年12月	豊富町	支署事務所増築 鉄骨コンクリート造り2階建 422.1㎡
19年 1月	稚内市	オホーツク海沿岸地域津波警報発令 避難勧告発令 東浦地区住民7世帯23人・宗谷地区住民45人・車両100台避難 被害なし
19年 1月	猿払村	オホーツク海沿岸地域津波警報発令 知来別・浜鬼志別・芦野・浜猿払地区住民377世帯1,141人に避難指示発令、被害なし
19年 7月	猿払村	浜猿払草地火災549ha焼失
19年 7月	猿払村	消火栓設置(浜猿払・浅茅野台地各1基)
20年 4月	豊富町	第1分団第2分団統合 2ヶ分団制とする
20年 7月	豊富町	北海道消防操法大会に(小型ポンプ)第1分団出場
20年 8月	猿払村	消火栓設置(浜猿払村・浜鬼志別各1基)
20年10月	豊富町	消火栓取替設置(22基)
21年 7月	豊富町	消火栓設置(5町内1基) 消火栓取替設置(19基)
21年 8月	稚内市	40mはしご車オーバーホール
21年 9月	猿払村	消火栓設置(浜鬼志別・浅茅野台地 各1基)
21年11月	豊富町	第2分団庁舎改築
22年 3月	猿払村	第6分団廃止 7ヶ分団制とする
22年 9月	豊富町	第1分団人員搬送及び小型ポンプ付積載車購入
22年 9月	猿払村	消火栓設置(鬼志別・知来別・芦野 各1基)
23年 3月	稚内市	高規格救急自動車配置「救急3号」
23年 3月	猿払村	消防タンク車配置(水2,000ℓ)
23年 4月	稚内市	東日本大震災における第9次緊急消防援助隊3名派遣
23年 4月	豊富町	東日本大震災における第9次緊急消防援助隊1名派遣
23年 4月	猿払村	東日本大震災における第9次緊急消防援助隊1名派遣
23年 5月	豊富町	防災航空隊員1名派遣(3年間)
23年 9月	猿払村	沿岸3地区合同津波避難訓練(知来別・浜鬼志別・浜猿払住民)
23年11月	猿払村	第3分団庁舎新築 95㎡
23年12月	豊富町	消火栓設置(東豊富 2基)
24年 3月	稚内市	消防タンク車(CAFS)配置「タンク1」
24年 7月	稚内市	北海道消防操法大会(小型ポンプ)第2分団出場
24年10月	猿払村	消火栓設置(知来別・猿払各1基)
25年 3月	稚内市	消防緊急通信指令システム更新
25年10月	稚内市	高規格救急自動車配置「救急1号」
25年10月	豊富町	高規格救急自動車配置「救急1」
25年10月	猿払村	第2分団庁舎新築 95㎡
25年12月	豊富町	消火栓設置(1町内1基・東豊富2基)
26年 3月	豊富町	防災航空隊員1名派遣終了

平成時代

稚内地区消防事務組合沿革

年月	組合	事項
26年 7月	猿払村	指令車配置
26年 8月	豊富町	消防救急無線デジタル化設備整備開始
26年11月	豊富町	消火栓設置(大通12丁目1基)
27年10月	猿払村	消火栓設置(鬼志別1基)
28年 1月	猿払村	高規格救急自動車配置
28年 3月	稚内市	消防救急無線デジタル化設備整備工事完了
28年 3月	豊富町	消防救急無線デジタル化設備整備工事完了
28年 3月	猿払村	消防救急無線デジタル化設備整備工事完了
28年 3月	豊富町	消防タンク車(CAFS)配置「豊龍」
28年 4月	稚内市	ファーストレスポonder運用開始
28年 4月	稚内市	救命入門普及員養成開始
28年12月	稚内市	第14分団 小型ポンプ積載車購入
29年 3月	稚内市	化学消防ポンプ車配置「化学1」
29年11月	稚内市	高規格救急自動車配置「救急2号」
29年12月	稚内市	第5分団 小型ポンプ積載車購入
29年12月	稚内市	第10分団 小型ポンプ積載車購入
30年 3月	猿払村	大型水槽車配置「猿払消防3」
30年10月	稚内市	第11分団 小型ポンプ積載車購入
30年12月	稚内市	団本部連絡車配置
31年 3月	豊富町	簡易型通信指令システム整備工事完了
元年 9月	稚内市	消防本部広報車配置
元年12月	豊富町	宗谷北部を震源(豊富町豊幌)とする地震発生 豊富町で震度5弱を観測 震源の深さ7キロ 地震の規模はM4.2 被害なし
元年12月	猿払村	高規格救急自動車配置
2年 3月	稚内市	災害対応特殊屈折はしご付消防ポンプ自動車配置「梯子1」
2年 7月	稚内市	エアータント寄贈(消防後援会)
2年11月	稚内市	消防緊急通信指令システム購入
3年 2月	猿払村	団本部 多機能積載車 消防庁より貸与
4年 2月	豊富町	第2分団 小型動力ポンプ付積載車購入
4年 3月	豊富町	小型動力ポンプ付水槽車配置「水龍」
4年10月	稚内市	高規格救急自動車寄贈配置「救急3号」(全国共済連)
4年10月	稚内市	水難用ボート・牽引用トレーラー配置
4年11月	稚内市	第4分団 小型ポンプ積載車購入
4年12月	豊富町	第1分団 小型動力ポンプ付積載車購入